

平成25年度 事業報告

- ・墨田さんさん会本部 【P. 1～4】
- ・墨田さんさんプラザ 【P. 5～12】
- ・すみださんさんるーむ 【P. 13】
- ・ワクワク工房デイサービス 【P. 14～16】
- ・亀沢七福福祉作業所 【P. 17～21】
- ・向島七福福祉作業所 【P. 22～25】
- ・ほーむ大洋 【P. 26～27】
- ・ほーむアンブレラ 【P. 28～29】
- ・相談支援センターさんさん 【P. 30】

平成25年度 墨田さんさん会本部 事業報告

1 事業報告

墨田さんさん会の中・長期的事業計画の展望にもとづき、平成25年度は新規事業立ち上げに向け動きを始めました。また、法律が障害者自立支援法から障害者総合支援法に移行され4月から施行されたことにより規程の変更を行ったことや社会福祉法の所轄変更により定款等を変えたこと、さらには、亀沢七福移転に伴う運営規程の変更等が数多くありました。以下、25年度本部事業について報告いたします。

(1) 本部の役割

墨田さんさん会の各事業所が適正かつ円滑に執行できるように本部を中心に事業調整を図りました。職員の健康診断受診、採用や更新等の人事を含め各事業所と連絡を密にしながら行いました。

(2) 事業の推進

墨田さんさん会の中・長期的事業計画と展望にもとづき、改めてその計画の必要性や課題が見えてきました。この計画や課題に向け検討を行ってきた結果、新事業の必要性を踏まえ施設建設に向け動き始めました。

B型事業所の統合を検討

亀沢七福・向島七福両作業所の家賃が合計で年間1千万円にもあがることや持ち主の都合で何度も移転を余儀なくされていること、また、繰越金の有効活用等により、自前の施設建設の必要性が出てきたこと等、推進を図る上での要因となりました。

(3) 職員研修の充実・新会計基準への移行準備

福祉施設には、その施設にふさわしい知識や技能が必要となりますので、多忙を極める中、充実した研修を行ってきました。その中で27年度中までに会計制度が新基準に移行するように義務付けられていることから必要な研修を行いました。

25年度は相談支援事業が本格的に動き出した年でもあり、担当者のみならず今後に向け充実を図りました。また、スキルを磨くための研修、管理者研修や法人の監査役にも監査研修を受講していただきました。

(研修受講記録参照)

(4) 広報活動

さんさん会の理念にもとづき、いろいろな機会を捉えて広報活動を行ってきました。ホームページの更新等により、さんさん会の事業が理解していただけたことと思います。また、幅広く施設見学を受け入れ、地域等の理解を進めてまいりました。

2 理事会・評議員会について

当法人の実施事業にかかわる重要事項を審議するための理事会・評議員会は、次のとおり開催しました。

①理事会

回	開催日	主な審議内容
1	5月29日	25年度事業報告・決算報告・監査報告について 議案第1号 平成24年度事業報告 議案第2号 平成24年度決算報告 議案第3号 平成24年度監査報告 議案第4号 定款の変更について 議案第5号 運営規程の変更について
2	8月30日	議案第6号 新規事業について 議案第7号 補正予算について 議案第8号 長期計画について
3	12月24日	議案第9号 新理事・評議員の候補について 議案第10号 運営規程の変更について 議案第11号 新規事業の進捗状況について
4	3月26日	議案第12号 新理事の候補について 議案第13号 25年度補正予算 議案第14号 経理規程の変更について 議案第15号 26年度予算について 議案第16号 運営規程の変更について ワクワクディサービス 相談支援センターさんさん 議案第17号 旅費規程について

②評議員会

回	開催日	主な審議内容
1	5月29日	25年度事業報告・決算報告・監査報告について 議案第1号 平成24年度事業報告 議案第2号 平成24年度決算報告 議案第3号 平成24年度監査報告 議案第4号 定款の変更について 議案第5号 運営規程の変更について
2	8月30日	議案第6号 中長期計画について 議案第7号 新規事業について 議案第8号 補正予算について
3	12月24日	議案第9号 新理事・評議員の候補について 議案第10号 運営規程の変更について 議案第11号 新規事業の進捗状況について
4	3月26日	議案第12号 新評議員の候補について 議案第13号 25年度補正予算について 議案第14号 経理規程の変更について 議題第15号 26年度予算について 議案第16号 運営規程の変更について ワクワク工房ディサービス 相談支援センターさんさん 議案第17号 旅費規程について

3 監査会の開催

平成26年5月23日1時30分、プラザ3階多目的室において2名の監事により、業務執行状況及び財産管理、財務執行状況について、監査が行われ、全て適正に執行されていることが確認されました。

【資料】 職員の研修

25年度は、下記の表のように研修を実施しました。

平成25年度 職員研修受講記録

日 時	研修内容	受講数
5月23日	ボランティアコーディネイト入門編	1名
6月21日.22日	東京都相談支援従事者初任者研修	1名
7月23日.24日	知的発達障害部会・施設体験部会 (世田谷区立障害者就労支援センタースキップ)	1名
8月26日.27日	第15回溶液栽培夏の学校 日本溶液栽培研究会技術研修会	1名
8月22日	障害別事例研修 ダウン症と自閉症	1名
9月9日 10月1日.2日	25年度相談支援従事者研修	1名
10月 18日.22日.24日	新会計基準移行研修	1名
10月23日	施設経営初任者研修	2名
11月 5日.14日.21日	短期入所者向け研修	1名
11月26日	法人役員向け研修	1名
1月9日.10日	東京都相談支援従事者 初任者研修	1名
2月 27日.28日.31日	決算実務研修	1名

平成25年度 墨田さんさんプラザ 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

年代	24年度末(25.3.31)			入所		退所		25年度末(26.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	2	1	3			1		0	0	0
20～29歳	20	9	29			1		17	8	25
30～39歳	7	7	14				2	10	7	17
40～49歳	5	2	7	1				6	2	8
50～59歳	1	2	3	1				2	2	4
60歳以上	3	2	5					3	2	5
計	38	23	61	2	0	2	2	38	21	59
平均年齢	32.3歳	34.3歳	33.0歳	2		4		32.3歳	34.3歳	33.0歳

(2) 障害程度区分 26.3.31現在

障害区分	男性	女性	計
6	0	0	0
5	1	0	1
4	2	0	2
3	2	8	10
2	9	2	11
1	4	2	6
未判定	20	9	29
計	38	21	59

2 開所日数

241日

3 支援の状況

(1) 個別支援計画の作成

個別支援計画（以下「支援計画」という。）は、利用者個々の特性に応じたきめ細かな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとりひとりのニーズを反映するために利用者、保護者、施設職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものです。この計画について、中間報告を9月末に、年間報告書を3月に利用者・保護者に報告しました。3月の報告とともに三者面談を行い、26年度個別支援計画の作成も完了することができました。

<個別支援計画作成プロセス>

時 期	事 項	
3月	①	前年度支援計画の見直し
	②	個別支援計画報告書作成
	③	利用者毎の課題と目標を設定
	④	具体的な支援内容を検討
	⑤	支援計画書担当者案作成
	⑥	担当者(案)の内容審査
	⑦	支援計画案決定
	⑧	個別面談 利用者・保護者に対する計画案の説明
	⑨	個別面談 利用者・保護者からの意見・要望聴取
	⑩	支援計画案修正
	⑪	支援計画決定
	⑫	フェイスシート作成・変更
	⑬	観察等による利用者のデータ収集・ニーズの把握
	⑭	アセスメントシート作成

(2) クラブ活動

毎月第三火曜日の午後にクラブ活動を行いました。

クラブ名	参加者数	主 な 活 動 内 容
スポーツ	17	外で球技・バドミントン・風船パレー等
写真	6	花や風景等の撮影、写した写真を使ったカレンダー作り
音楽	15	カラオケや楽器の演奏
レクリエーション	6	卓球
創作	9	ちぎり絵、絵画、ビーズ等の制作

(3) 行 事

平成25年度は次の行事を行いました。

4月1日	お花見	平井橋第一公園にて特製弁当を食べた	平井橋第一公園
5月30日 ~31日	宿泊旅行	鴨川シーワールド見学、東京湾フェリー乗船	千葉方面
6月28日	ボウリング	アイビーボウル様より招待	アイビーボウル向島
10月20日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会へ参加	墨田区総合体育館
11月22日	10周年 記念	墨田さんさんプラザ創立10周年記念式典	東武レヴァント
1月6日	新年会	法人全事業所による新年顔合わせ会	曳舟文化センター
2月23日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 劇「ジャックと豆の木」を上演する	曳舟文化センター
3月7日	バスハイ ク	いちごジャム作りとバイキング	沼津方面

(4) 健康管理

事業所としての利用者の健康状態把握と利用者の自己管理を促すことの両面から、次のことを行いました。また平成20年度より、体調管理の指針となるように、毎月実施している体重測定の結果をグラフにして配布しています。

方法	実施 サイクル	内 容
日常の健康 チェック	毎 日	①入退所時や施設内での活動時における身体状況等の観察 ②体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	①月初に測定し、毎月の体重変化を把握し健康管理について助言する
嘱託医によ る健康相談	月1回	①毎月第2木曜日に嘱託医が来所し、利用者の健康相談や健康講話を行う
定期健康診断	5月16日 5月22日	①医療機関において胸部X線、尿、血液、血圧、内診、心電図等の検査を行う

(5) 安全管理

施設内はもとより、通所途中の事故防止等についても、利用者に対し折にふれて注意を喚起するとともに、希望者には位置検索機の貸し出しを行ない、通所途中の安全確認と異常時の対応を迅速かつ適切に行ってきました。また火災や大地震の発生に備え、6月17日と12月2日に避難訓練を実施しました。

(6) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労希望者には就労に向けた訓練を実施し、求人に関する情報提供をするとともに、就労支援センターと連携を行います。今年度は希望者が企業見学に参加しましたが、企業就職者を出すには至りませんでした。

(7) 利用者自治会

親睦を目的とした利用者の会“プラザの会”があります。選挙により選出された役員が中心となり会費の運用や行事での企画等に活躍しました。職員は利用者の自主性を重視し、サポートする立場で支援しました。

4 授産事業の状況

(1) 総収益 27,921,004円 前年度比 17.9%減
月平均 2,326,750円

(2) 部門別収益内訳

	受注	公園清掃	点字名刺等	パン	クッキー
年計	5,850,221	2,177,004	183,029	4,106,893	2,783,554
月平均	487,518	181,417	15,252	342,241	231,962
前年度比	-1.9%	-1.4%	-24.1%	-9.5%	-14.6%
	喫茶	清掃	緑化	リサイクル	
年計	919,864	14,917,440	1,856,017	1,205,894	
月平均	76,655	1,243,120	154,668	100,491	
前年度比	35.5%	68.2%	-0.1%	0.1%	

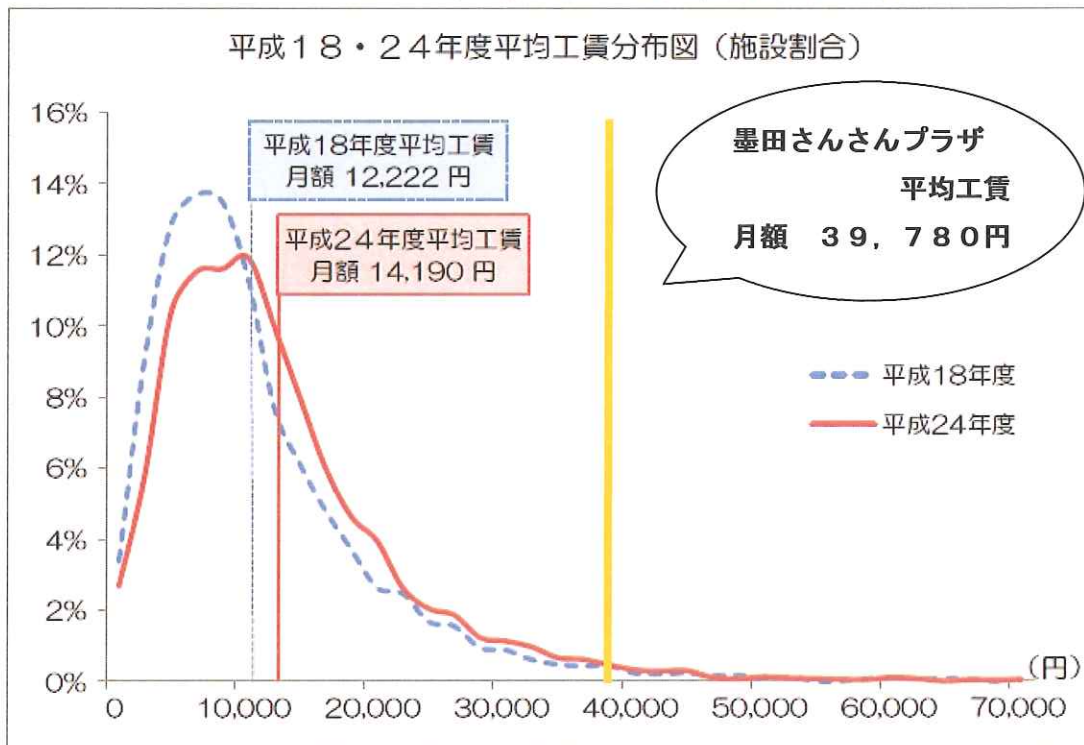
(3) 工賃支払総額 27,921,004円
支払月平均 39,780円 前年度比 6,312円減

◎ 全国授産施設等における工賃支給額との対比
(厚生労働省ホームページより)

平成24年度平均工賃分布図(工賃倍増5か年計画対象施設)

平成18・24年度平均工賃分布図（就労継続支援B型事業所）

(※)平成18年度は就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模通所授産施設



5 職員の任免

	施設長	事務			生活支援員兼作業指導員			栄養士	嘱託医	計
	常勤	常勤	非常勤	臨時	常勤	非常勤	臨時	(兼務)	非常勤	
24年度末	1	1	0	0	6	1	18	(1)	1	28
25.3.31		1			25					
退職	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		0			1					
採用	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		0			1					
異動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0			0					
昇格	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0			0					
25年度末	1	1	0	0	6	1	18	(1)	1	28
26.3.31		1			25					

6 職員の研修

実施日	研修内容	参加者数
5月23日	ボランティアコーディネイト入門編	1
6月21・22日	東京都相談支援従事者初任者研修	1
7月23・24日	知的発達障害部会・施設体験部会	1
8月22日	障害別事例研修「ダウン症と自閉症」	1
8月26・27日	日本溶液栽培研究会技術研修会	1
9月9日他	25年度相談支援従事者研修	1
10月18日他	新会計基準移行研修	1
2月27日他	決算実務研修	1

7 地域交流等

墨田さんさんプラザの特色であるパン・クッキーの製造・販売や喫茶コーナー、公園緑化活動や花苗配布の事業活動は、実質的かつ日常的な地域交流として大きな成果を上げています。特に花苗配布は地域に定着し緑化活動と合わせ地域に愛される存在になりました。地域交流行事の目玉である「さんさんプラザまつり」は、台風の影響により中止となりました。

8 福祉サービス第三者評価の受審

(1) 評価機関

評価機関 NPO法人 福祉経営ネットワーク

住 所 千代田区九段南3-4-5番町ビル7A

(2) 評価の手法と内容

25年度の福祉サービス第三者評価は「利用者調査」と「組織マネジメント」、「サービス分析」を実施しました。

(3) 評価結果

全体の講評

利用者の総合的な感想では「大変満足」が24名、「満足」が25名と8割以上の利用者が満足しています。去年に比べ1割も満足している利用者が増えていることは、サービスの充実の結果として大きく評価できるものと考えられます。また、主任を3人体制にしたことで組織体制の向上と利用者支援の強化が図られました。個別支援計画の目標に基づき個々の利用者の能力を引き出す支援を行い成果につなげているとの評価を得ました。さらなる改善が望まれる点として、個別支援計画書に沿った具体的な支援内容がわかりやすいケース記録に、との指摘を受けたので、こうしたことを考慮し、次年度重点課題として取り組んでいきます。

9 本年度の重点課題について

(1) 新規授産事業の取り組み

①施設清掃事業

墨田区から受託した「すみだ障害者就労支援総合センター」施設内及び周辺の清掃事業が25年度より一部契約内容の変更となったため、それに対応するための利用者支援と職員配置を行いました。

②緑化事業

公園花壇等の管理として「平井橋第一公園」「すみだ障害者就労支援総合センター」に季節に合わせた草花を植えました。また「さんさんプラザ」屋上にて花苗を育て、地域交流の一環として配布することができました。水耕栽培は、収穫した野菜を喫茶でサラダとして提供し、スカイワゴンでも販売いたしました。

③自主生産品

スカイワゴンでの販売をはじめ、各所でのパン・クッキー販売が浸透しました。パンは約50種類、クッキーは約20種類と年々種類を増やしています。

④職員研修の充実

作業の多様化から専門的な知識を求められることも多々あるため、各職員が様々な分野の研修に参加し研鑽を積みました。

(2) 利用者支援の充実

①支援マニュアルを整備

状況や障害の特性に応じた支援マニュアルを作成し、全職員で統一した支援方法を実行できるよう検討しました。

②安全管理の徹底

利用者本人達の自主性を尊重し、休み時間等は本人主体の時間として見守るとともに、トラブルに対しては即対応しました。

③本人会活動の支援

本人参加の場を提供するとともに、本人たちでは難しい判断のときにはアドバイスをおくりました。旅行等の行事での本人会主催の企画の支援を行いました。

(3) 啓発事業の取り組み

① 10周年記念行事

11月22日(金)に東武ホテルレバント東京4階錦の間において「墨田さんさんプラザ開設10周年記念式典」を墨田さんさんプラザ保護者会との共催にて開催しました。当日は墨田区長をはじめ福祉保健部長、障害者福祉課長、また開設よりお世話になった方々をお招きし、総勢132名の参加で盛大に行いました。

② ソラマチ企画展

2月末から6日間スカイツリータウンソラマチ5階まち処にて「障害者自主生産品共同販売展」を開催しました。昨年度の反省を活かしレイアウト等に工夫を重ねた結果、関係者より好評を得ました。売り上げ的には昨年度を下回りましたが、墨田区の障害者自主生産品を全国からスカイツリーに訪れたお客様にアピールすることができました。

平成25年度 すみださんさんるーむ 事業報告

これまでと同様に、緊急性を考慮しつつ、利用希望者の期待にこたえられるよう積極的な取り組みを行ってまいりました。

学齢児の日中利用の増加は続き、特に学校の休校時に多くの利用傾向がみられました。また、重度障害者の利用希望や他区からの利用希望も増加傾向となり、併せて新規利用者が増え、本事業の必要性を改めて実感しているところです。

こうした状況も踏まえ、できる限りの受け入れに努力を図ってまいりました。近年、努めてまいりました定員に近い利用者を同時期に受け入れる等、効率的な事業運営を図っていく努力も行ってきました。この結果、財政面での事業運営も正常な傾向が見られるようになり、安定の域に達したところです。

いずれにしても、必要な人に必要なサービスが受けられる態勢作りを行い、緊急性を配慮した事業運営を目指してまいりました。

1 利用実績

短期入所			
月	利用人数	延べ利用日数	
4	15	21泊	43日
5	17	24泊	48日
6	15	20泊	41日
7	15	19泊	38日
8	19	24泊	48日
9	17	25泊	50日
10	17	24泊	48日
11	18	22泊	44日
12	16	21泊	42日
1	12	16泊	32日
2	15	20泊	41日
3	18	22泊	44日
計	194	260泊	519日
月平均	16.2	21.7泊	43.3日

日中一時		
月	利用人数	延べ利用日数
4	17	24
5	14	23
6	17	24
7	16	26
8	18	24
9	18	25
10	20	22
11	16	28
12	18	26
1	19	24
2	21	23
3	21	25
計	215	294
月平均	17.9	24.5

2 職員体制 (平成26年3月31日現在)

管理者 (兼務)	支援スタッフ		計
	常勤	臨時職員	
1	1	4	6

平成25年度 ワクワク工房デイサービス事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

年代	24年度末(2013/3/31)			入所		退所		25年度末(2014/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18~29		1	1							
30~39	1	2	3					1	3	4
40~49	1	2	3	1				2	2	4
50~59	3	5	8			1		2	3	5
60~		3	3						5	5
計	5	13	18	1	0	1	0	5	13	18
平均年齢	46.4	50.5	49.3					46.6	51.5	50.1

(2) 利用者数・利用日数

週	24年度末(2013/3/31)			入所		退所		25年度末(2014/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
5日	2	7	9	1		1		2	7	9
4日	1	1	2					1	1	2
3日	0	1	1						1	1
2日	0	3	3						3	3
1日	1		1					1		1
計	4	12	16					4	12	16

(3) 月間利用回数3回以下の利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
2	2	3	2	2	3	2	2	2	3	3	2	28	2.333333
24年度												56	4.667

(4) 障害程度区分

区分	男性	女性	計
2	2	3	5
3	3	7	10
4		1	1
5	1	2	3
6	0	0	0
計	6	13	19

	家庭		生活寮		計
	区内	区外	区内	区外	
男性	4		2		6
女性	9		3	1	13
計	13	0	5	1	19

2 開所日数 241日

3 利用実績 平成25年度(3. 31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	21	21	20	22	19	19	22	20	19	19	19	20	241	20.08333
登録者数	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	225	18.75
出席者数	230	262	243	284	233	242	267	256	238	233	197	247	2932	244.3333
1日平均	11	12.4	11	12.9	12.3	12.7	12.1	12.8	12.5	12.3	10.4	12.4	12.1	13.1
新規契約		1											1	
退所										1			1	

平成25年度

稼働日数	登録者数	延べ出席者数	1日平均
241	18.75	2,932	13.1

4 支援の状況

あらゆる活動を通して、利用者が社会参加と自立を図れるよう、また、ともに生きがいが高められるよう支援をしてまいりました。所外レクリエーションや誕生日会等、できる限り新しい経験が出来るような企画とし実施しました。併せて、四季折々の文化に親しみ、利用者が楽しめる行事を心掛けました。

25年度は、就労継続支援事業へ1名移行、他介護事業所へ1名移行、健康上の都合により1名退所と3名の利用者が退所されました。新規利用者は1名入所されました。退所された2名の利用者は利用数がほとんどなく、1名のみ入所ですが毎日利用されると、休みがちな利用者への職員の働きかけにより利用回数が増加したに繋がりました。

(1) 行事報告

4月	1日お花見(東しらひげ公園) 15日誕生日食事会(TomTom) 22日保護者連絡会
5月	27日火災避難訓練・食事会(坂むら)
6月	24日ボウリング大会・食事会(L&Cキッチン)
	26日所外レクリエーション(崎陽軒工場見学他)
7月	22日誕生日食事会(しゃぶ田)
8月	15日前後夏季休暇 26日食事会(どっこい) 28日健康診断(向島保健センター)
9月	30日地震避難訓練・誕生日食事会(和食さと)
10月	11日保護者連絡会 20日スポーツレクリエーション大会 30日誕生日食事会(リヨン)
11月	7・8日宿泊レクリエーション 25日食事会(バーミヤン)
12月	25日誕生日食事会(天狗) 28日～31日年末休暇

1月	1日～5日年始休暇 6日新年顔合わせ会 27日誕生日食事会 (TomTom)
2月	17日誕生日会 (しゃぶ田) 福祉大会 (23日)
3月	1日・3日共同販売展実演 20日所外レクリエーション (千葉方面)
	31日誕生日食事会 (TomTom)

(2) 参加行事

スポーツレクリエーション大会 新年顔合わせ会 福祉大会 共同販売展実演

(3) 調理支援

毎週水曜日に調理実習を実施しました。

(4) 健康管理

・検温 (毎日) ・体重測定 (週1回) ・血圧測定 (週1回) ・健康診断 (年1回)

(5) 安全管理

年に2回、避難訓練を実施しました。

(6) 新聞発行

月に1回、デイサービス通信を発行しました。

5 重点課題に対する取り組み

(1) 生活介護

1. 自分でできることは自分で行えるよう働きかけ、日常生活など利用者の望む自立した生活を送れるよう支援しました。
2. 個別支援計画を作成し、利用者一人ひとりに合わせた支援を行いました。

(2) 社会交流

1. パウンドケーキの店頭販売は評判も良く地域に浸透され、スカイワゴンの販売を通じて様々な人たちとの交流ができました。また、昼食の買い物等近所のスーパーに出かけたり、食事会には近隣の飲食店を利用するなどして地域交流を図りました。

(3) 健康維持

1. リハビリの一環として食事会等は歩くよう心がけ、散歩の機会も増やしました。また、皆で楽しく体を動かせるようボール遊びなど取り入れました。
2. 利用者の健康状態に注意するとともに、利用者の健康相談にも応じ、通院等の支援を行いました。

平成25年度 亀沢七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数および年齢分布 (26.3.31現在)

男性 11名 女性 8名 合計 19名

年齢分布

年代	24年度末(25.3.31)			入所		退所		25年度末(26.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0					0	0	0
20～29歳	1	0	1					1	0	1
30～39歳	5	2	7					4	1	5
40～49歳	3	2	5					4	3	7
50～59歳	1	2	3					1	2	3
60歳～	1	2	3					1	2	3
計	11	8	19					11	8	19
平均年齢	39.9	49.4	43.8					40.9	50.3	44.8

(2) 障害分布 (26.3.31現在)

愛の手帳

障害程度区分

	男性	女性	計		男性	女性	計
1度				区分1			
2度	2		2	区分2	5	3	8
3度	2	3	5	区分3	1	1	2
4度	7	5	12	区分4	1		1
計	11	8	19	区分5			
				区分6			
				未判定	4	4	8
				計	11	8	19

2 営業日数および延べ利用者数 (リサイクル除く)

(1) 営業日数: 241日

(2) 延べ利用者数: 4,000人

3 支援状況

生産活動等を通し、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、その知識と能力の向上に必要な福祉サービスの提供に努めました。また、緑化事業や公園清掃等の屋外活動を通して、地域に対する障害者理解のための啓発へとつながるよう努めました。

建物オーナーによる移転要請を受け、新天地への地域対応をはじめ円滑な移転準備に努めました。また、事前に新事業所への通勤指導を全利用者を実施するなど安全面の対策も講じるとともに、一日も事業所を休業させることなく、無事に移転することができました。

利用者支援にあたっては、「社会福祉法人墨田さんさん会亀沢七福福祉作業所運営規程」に基づき、個別支援計画を中心とした利用者の処遇に万全を期すべく努めました。

(1) 行事

平成25年度は以下の行事を行いました。

4月30日	所外活動	すみだ水族館 本所防災館	利用者19名 職員4名
6月7日	バスハイク	神奈川方面 長谷寺散策他	利用者18名 職員5名
6月18日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	利用者17名 職員5名
10月3日 4日	宿泊旅行	かんぼの宿 郡山宿泊 日新館 絵付け他	利用者16名 職員6名
10月20日	スポレク	区主催 障害者(児)スポーツ レクリエーション大会に参加	利用者18名 職員6名
12月7日	ふれあい フェスティバル	区主催 ノーマライゼーション推進 啓発事業 業務委託	利用者15名 職員5名
12月27日	忘年会	当所食堂にて食事会 にじの会主催 職員送別会 カラオケ等	利用者18名 職員6名
1月6日	新年 顔合せ会	墨田さんさん会主催 曳舟文化センター	利用者19名 職員5名
2月23日	福祉大会	区主催 障害者福祉大会参加 演目:歌・演奏「雨のちハレルヤ」	利用者17名 職員5名

(2) 余暇活動

上記レクリエーション行事の他に毎月第3火曜日の午後を余暇活動とし、利用者の希望や意見を反映させながら趣味やスポーツ活動を中心に実施しました。

(3) 健康管理の取組み

施設としての利用者の健康状態の把握と、利用者による自己管理の両面から、次のことを行っています。

方 法	実施サイクル	
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対し、迅速な対応を行いました。
体重測定	月1回	グラフ化し利用者への助言、家庭へ測定記録の配布をしました。
定期健康診断	10月30日	本所保健センターにて胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診等の検査を行いました。

(4) 安全管理

施設内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくとともに、野外行事における職員体制の強化を図りました。

また、火災や大地震の発生に備え、8月30日・11月26日に避難訓練を実施しました。

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携し、就労に向けた取り組みを行ってきましたが、企業就職へは、至りませんでした。

また、法人においても3事業所が協働している食品トレーの選別について、リサイクルストックヤードでの出退勤や工賃の時給制等、より一般就労に近い労働形態となるような環境整備に努めました。

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当とは違い、温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者や保護者から好評を得ています。

4 工賃推移

平成25年度の工賃支払額は以下のとおりです。

※（ ）内は一人当たり平均工賃月額

4月	5月	6月	7月	8月	9月
369,963 円 (19,472 円)	574,137 円 (30,218 円)	417,310 円 (21,964 円)	484,702 円 (25,511 円)	468,811 円 (24,674 円)	450,996 円 (23,737 円)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
444,437 円 (23,391 円)	430,191 円 (22,642 円)	484,410 円 (25,495 円)	388,148 円 (20,429 円)	461,248 円 (24,276 円)	494,924 円 (27,496 円)

25年度工賃支払総額 5,469,277円(前年度比 1,022,340円減)
一人当たり平均工賃 24,094円(前年度比 5,548円減)
24年度全国平均工賃 14,190円(※注)

※注 対象：就労継続支援B型事業所(7,938施設)

(「平成24年度工賃(賃金)月額の実績について」 厚労省HPより)

5 重点課題への取り組み

(1) 事業所の移転

新事業所での営業開始日を5月1日と定め、移転に係るあらゆる準備を円滑に進めてきました。その結果、利用者を一日も自宅で待機させることなく、移転を済ませることができました。

また、所内事務スペースの間仕切りや更衣室の拡張、事業所パンフレットの作成等これまでの課題も移転と同時に解消しました。

(2) 本人会活動の充実

にじの会(本人会名称)においては、職員送別会や利用者忘年会の主催、所内のルール作り等の自治に加え、事業所の行事への参画等、様々な活動の場を創出し、これをサポートしてきました。会長をはじめとする役員を中心に、物事を決定するといった構図が徐々に確立されつつあります。こうしたことを通して自主性の育成や個人の尊重に努めました。

(3) 記録の整備

職員会議の記録係を全職員で輪番制にし、記録を整備する必要性についての理解を深めました。また、利用者支援記録については、昨年第三者評価の課題となっておりましたが、今年度は十分改善がなされているとの評価を得ました。

(4) 個別支援計画書の作成

個別支援計画書の作成にあたっては、事前に利用者・保護者・事業所で面談を行い、利用者の希望や目標課題を三者で確認しました。

また、これにもとづいて実施した支援の状況を中間報告書として年度半ばに作成・配布し、年度末には三者面談を行い、今年度の報告と来年度の新たな個別支援計画を作成しました。

(5) 第三者評価の受審

利用者に対する福祉サービスの質の向上を図るため、評価機関「特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク」により第三者評価を受審しました。利用者調査と事業評価（職員調査含む）の2項目について受審し、多角的な観点での評価報告がなされました。その中で、課題の一つに挙がっていた「ケース記録の記載の仕方」については、記載マニュアルの作成・活用等により大幅に改善され、優良点との評価を受けました。

平成25年度 向島七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

男性 10名 女性 9名 合計 19名

年齢分布

年代	24年度末 (25.3.31)			入所		退所		25年度末 (26.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0					0	0	0
20～29歳	0	0	0					0	0	0
30～39歳	3	0	3					2	0	2
40～49歳	1	4	5		1			2	4	6
50～59歳	5	3	8	1		1		4	2	6
60歳～	1	1	2					2	3	5
計	10	8	18	1	1	1	0	10	9	19
平均年齢	49.3	51.4	50.2	2		1		50.2	51.4	50.8

(2) 障害内容 (26.3.31現在)

愛の手帳	男性	女性	計
1度	0	0	0
2度	0	1	1
3度	4	3	7
4度	6	5	11
計	10	9	19

(このうち、身障手帳3級が1名)

(3) 障害区分

障害区分	男性	女性	計
2	4	5	9
3	3	1	4
4	1		1
未判定	2	3	5
計	10	9	19

2 開所日数

241日

3 支援状況

就労継続支援B型事業所として、ひとりひとりのニーズを反映する為、利用者、保護者、施設職員で個別面談を行い、それをもとに施設内外での日常生活を通して、必要な知識や能力を向上させていく事ができるよう、利用者本位の支援体制の下、福祉サービ

スの質の向上を目指しました。また全職員が共通認識を持ち、知的障害者のニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供ができるよう努めました。

(1) 行事

平成25年度は次の行事を実施しました。

6月21日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	アイビーボウル向島
6月28日	バスハイク	野田キックマン工場見学	茨城・千葉方面
10月17～ 18日	宿泊旅行	かんぼの宿石和、信玄餅包装体験、ぶどう狩り、シイタケ狩り	山梨・埼玉方面
10月20日	スポーツ・レクリエーション大会	区主催の障害者(児)スポーツレクリエーション大会に参加	墨田区総合体育館
12月27日	年末お楽しみ会	食事会・カラオケ大会	向島七福福祉作業所
1月6日	新年顔合わせ会	法人全事業所による新年顔合わせ会	曳舟文化センター
2月23日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加	曳舟文化センター
3月14日	所外活動	本所防災館にて災害体験	本所防災館

(2) 余暇活動

平成25年度は次の余暇活動を実施しました。

5月2日	あんみつ作り	各班で利用者が包丁で寒天を切り、トッピングしてから黒蜜をかけ、試食する。	向島七福作業所
5月15日	卓球	作業室に卓球台を作り、交代しながら楽しむ。	向島七福作業所
6月13日	カラオケ・コーヒーゼリー作り	順番を決めてカラオケ後、全員でコーヒーゼリーを作り試食する。	向島七福作業所
7月5日	ビデオ鑑賞	宮崎駿の蛍の墓のビデオを借りてきて鑑賞	向島七福作業所
8月29日	かき氷作り・ビデオ鑑賞	利用者其々が氷をかき、好きなトッピングをして試食後、バスハイクのビデオ鑑賞	向島七福作業所
10月25日	ビデオ鑑賞	茶話会をしながら、宿泊旅行とスポーツレクリエーション大会のビデオ鑑賞する。	向島七福作業所
11月7日	本人会	全員で本人会の名称(向島七福友の会)を決め、細かいことを話し合う。	向島七福作業所
12月10日	クリスマスリース作り	其々がリースの形を決め、飾り付けを楽しみ、できあがった物を持ち帰る。	向島七福作業所
2月18日	福祉大会練習	福祉大会に向けて、ダンスの練習をする	向島七福作業所

(3) 健康管理の取り組み

施設として利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方法	実施サイクル	内 容
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月 1 回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する
定期健康診断	10 月 30 日	本所保健センターにおいて胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診・心電図等の検査を行いました

(4) 安全管理

事業所内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくとともに、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、火災や大地震の発生に備え、緊急時の心構えや行動の要領を身に付け、利用者を迅速かつ安全に避難させる行動要領を習得するため、年 2 回の避難訓練を実施しました。

避難訓練実施日 平成 25 年 5 月 31 日・12 月 14 日

(5) 就労支援

作業所では利用者支援の一つのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センター等と連携し、就労に向けた取り組みを行ってきました。

年齢的な事もあり、今年度も就労を希望する利用者はいませんでした。

(6) 食事支援

毎週 2 回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当では感じることのできない温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者はとても楽しみにしており、好評を得ています。

4 工賃推移

前年実績を上回り、平成 25 年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
¥645,800 (¥35,878)	¥679,206 (¥37,734)	¥599,667 (¥31,561)	¥523,015 (¥27,527)	¥564,837 (¥29,728)	¥560,665 (¥29,509)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
¥568,552 (¥29,924)	¥480,398 (¥25,284)	¥699,807 (¥36,832)	¥657,752 (¥34,619)	¥546,183 (¥28,746)	¥594,770 (¥31,304)

()内は一人平均

25 年度工賃支払総額 7, 120, 652 円
一人平均 31, 789 円

5 重点課題への取り組み

① 事業所の情報提供と、利用者が理解しやすい利用開始時の情報提供

事業所独自のパンフレットを作成し、利用者に分かりやすいよう一日の流れを掲示しました。

②利用者の自主性への構築

本人会が発足し、役員も決定しました。初めての事なので職員がサポートし、利用者が自分たちの意見を言えるよう、また自主的に活動できるよう取り組みました。

③職員会議の充実

利用者の自主性や主体性が育つよう、朝のミーティングや職員会議等を活用し、統一した支援方針で取り組みました。

④利用者の休憩時間の充実

休憩時間を通して、積極的に利用者とのコミュニケーションを図り、相談しやすい環境作りに努めました。

⑤個別支援計画の策定

利用者・保護者との面談により、それぞれの要望を伺い、目標・課題を確認し、26年度からの支援の充実を図る為の計画を作成しました。

⑥第三者評価の受審

昨年と同様にNPO法人福祉経営ネットワークにて受審しました。

全体の講評として、利用者の安全管理に関する設備の整理等を組織的に行っている。また、利用者の意思を尊重した対応を大切にして明るく快活な雰囲気づくりに取り組んでおり、利用者の仕事へのやる気向上に向けた取り組みを行っていることが良い点として評価されていました。

なお、改善点としては、ヒヤリハットや気付きメモなど、職員による利用者支援の向上にむけた仕組み作りや利用者の日々の活動記録や職員会議等において情報の共有化をさらに深めるよう記録方法や内容を検討すること、発足した本人会の具体的な取り組みへの期待などが挙げられていました。

⑦自主生産

今年度もスカイツリータウン5階まち処での障害者自主生産品共同販売店やスカイワゴン等に出店しました。利用者が編み物でコースジを作ったり、アイロンをかけたりと作業幅は少し広がりましたが、今後も工賃向上に向け取り組んでいきます。

平成25年度 ほーむ大洋 事業報告

平成21年4月に開設し、5年間無事に過ぎることができました。グループホーム・ケアホームとして、7名の方々がお互い生活習慣や対人関係にも慣れ、安定し毎日が過ごせたと思います。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと、入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して1年間努力してきました。こうした中で、入居者の方々も生活基盤ができ、落ち着いてきました。

今後も、安心して暮らせるような環境作りと職員体制の強化、健康管理や安全管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
30代	2		2
40代	1	1	2
60代	1	2	3
計	4	3	7

② 障害区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	1	1	2
3	2	1	3
5	1		1
計	4	3	7

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	2	1	3
福祉作業所	1	2	3
デイサービス	1		1
計	4	3	7

2 職員体制

	管理者(兼務)	常勤	非常勤
管理者 サービス管理者	1(兼)		
世話人		1	3
生活支援員			2

3 支 援 状 況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画は、一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員とほむ職員の合意のもとに作成しました。

これにもとづき、短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行 事

誕生会	4月	アイビーボール
		デニーズ
花火大会	7月	大洋屋上
クリスマス会	12月	大洋食堂
宿泊体験	11月30日・12月1日	赤倉温泉

③ 健 康 管 理

朝食時や夕食時に入居者ひとり一人の健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安 全 管 理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が維持できるよう、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行し、さらに近めの行楽地に出かける機会も多くもて、楽しい思い出作りに努めました。宿泊体験を計画し、実施できたことで余暇活動の充実が図れました。今後も行事として毎年、実施できるよう努めてまいります。

⑦ 虐 待 防 止

虐待防止について、全職員に周知の徹底を図りました。

平成25年度 ほーむアンブレラ 事業報告

平成22年2月に開設し、4年を無事過ごすことができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に14名の方々を迎え、心をこめた朝夕の食事提供、リラックスして1日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分に対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心がけてきました。

入居者の皆さんも生活習慣や対人関係にも慣れ、だいぶ落ち着いてきたように思います。

今後は、職員体制を強化し、安全管理や健康管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	2		2
30代	1	1	2
40代	4	1	5
50代	2	1	4
60代	2		1
計	11	3	14

② 障害区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	3	1	4
3	2	1	3
4			
5			
6	2	1	3
計	11	3	14

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	2		3
福祉作業所	6	1	6
ワクワク	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

2 職員体制

	常勤	非常勤	計
管理者 サービス管理者	1 (兼)		1
世話人	1	6	7
生活支援員	1	3	4
	3	9	12

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、入居者個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。個別支援計画はひとり一人のニーズを反映するために、入居者、保護者、関係機関の職員、ほ一むの職員の合議のもとに作成しました。これにもとづき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行 事

暑気払い	8月	アンブレラ食堂 きまぐれカフェ
忘年会	12月	
誕生会	4月・7月・8月・10月 12月・1月・3月	
所外レク	6月	掛川メロン狩り

③ 健康管理

朝食時や夕食時や帰寮のさい、入居者一人ひとりの健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努め、火災や大地震の発生に備え、6月と12月に避難訓練を実施しました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所など主催の行事への参加希望者には、職員やヘルパーさんが一緒に同行し、楽しい思い出作りに努めました。余暇活動の充実を図るため、計画、実行することができました。

今後、行事として毎年できるよう努めてまいります。

⑦ 虐待防止

虐待防止について、全職員に周知の徹底を図りました。

平成25年度 相談支援センターさんさん 事業報告

25年度はさんさんプラザの利用者を中心に57人の方の計画相談を実施しました。そのうち4名の方は新たに就労支援B型を希望され、ご本人の意向に沿った相談およびサービス利用計画を行いました。

また、さんさん会所属の利用者に関し意向調査を行い、次年度の計画相談実施への準備を遂行しました。

1 利用実績

(1) 相談利用者数

年代	男性	女性	計
18～19歳			0
20～29歳	15	7	22
30～39歳	10	5	15
40～49歳	7	3	10
50～59歳	3	3	6
60歳以上	2	2	4
計	37	20	57
平均年齢	34.1歳	37.5歳	35.3歳

(2) 所属・相談種別

所属	人数	計画	モニタリング	計画+モニタリング
墨田さんさんプラザ	52	51		1
亀沢七福	1		1	
向島七福	3	2	1	
ワクワク工房	2	1	1	
合計	58	54	3	1

*ワクワクとプラザで重複あり

2 職員体制（平成25年3月31日現在）

管理者(兼務)	相談支援専門員(兼務)	計
1	1	2